



環境にやさしい企業活動を目指して



2012 九州電力 環境アクションレポート



ずっと先まで、明るくしたい。

九州電力の思い ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九州電力の思いです。

この思いの実現に向けて、私たちは次の4つに挑戦しつづけます。

- 1 地球にやさしいエネルギーをいつまでも、しっかりと
- 2 「なるほど」と実感していただくために
- 3 九州とともに。そしてアジア、世界へ
- 4 語り合う中から、答えを見出し、行動を

編集方針

九州電力では、環境への取組みを多くの方々に知っていただくために、1996年から、環境活動への取組状況を「環境アクションレポート」として公表しています。

当社は、本レポートを通じて皆さまとの環境コミュニケーションを図ることにより、環境活動の充実を目指しています。

報告範囲

対象組織：九州電力及び九州電力グループ会社

対象期間：2011年4月1日～2012年3月31日

（一部将来の活動予定を含んでいます。また、本レポート発行までの最新情報についても、重要な事項は可能な範囲で記載しています。）

参考としたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン」（2007年版）

環境省「環境会計ガイドライン2005年版」

発行時期

前回：2012年2月

今回：2012年9月

次回：2013年6月頃を予定しています。

レポートの発行部数

	2011年度	2012年度*1
本レポート	4,000部	4,000部
サイトレポート	(人吉電力所*2)	(人吉電力所*2)

*1：発行予定部数。 *2：Web版のみ。



レポートの配布実績については、九州電力ホームページ 関連・詳細情報 (P2参照) レポートの配布実績

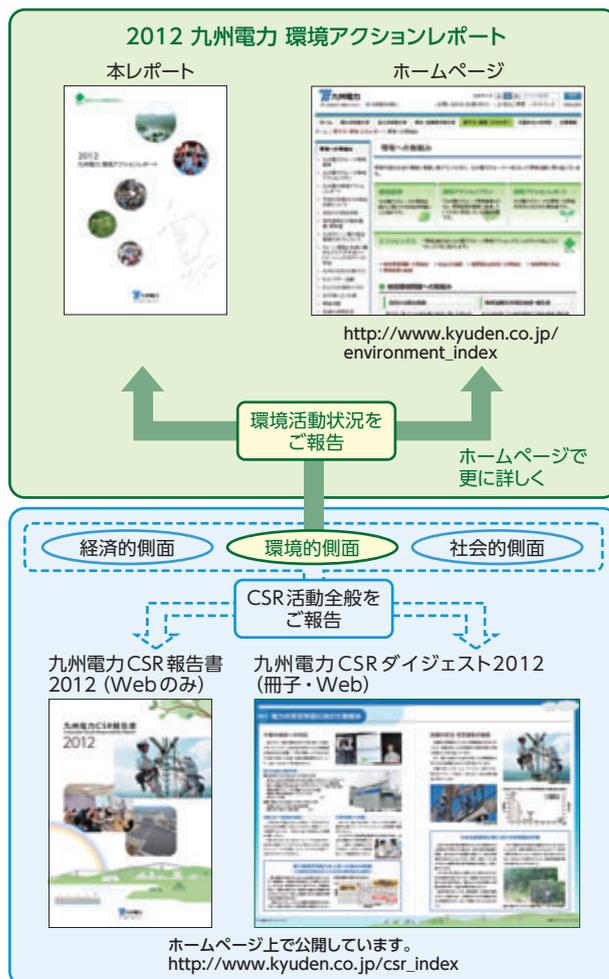
サイトレポートの発行について

事業所周辺地域の皆さまとの環境コミュニケーションを目的とした人吉電力所環境アクションレポート（サイトレポート）を、当社ホームページに掲載しています。

人吉電力所 環境アクションレポート
http://www.kyuden.co.jp/environment_booklet_index



環境アクションレポートと報告対象分野



作成部署・お問い合わせ先

九州電力株式会社 地域共生本部 環境計画グループ
〒810-8720 福岡県福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号
TEL：092-726-1531 FAX：092-761-7368



目次

ごあいさつ	03
2012 環境アクションレポート ハイライト	05

I 九州電力の環境経営

九州電力グループ環境憲章 / 九州電力グループ環境アクションプラン	07
推進体制	08
事業活動と環境負荷の状況	09
環境目標と実績	11

1 地球環境問題への取り組み	電気の供給面での取り組み	13
	電気の使用面での取り組み	25
	省エネ・省資源活動の展開	28
	京都メカニズムなどの活用 / 海外との技術交流などを通じたCO ₂ 排出抑制	29
	CO ₂ 以外の温室効果ガス排出抑制	30
2 循環型社会形成への取り組み	廃棄物のゼロエミッション活動の展開	31
	グリーン調達の推進	32
3 地域環境の保全	設備形成における環境への配慮	33
	発電所等の環境保全	35
	生物多様性の保全	37
4 社会との協調	九州ふるさとの森づくり	39
	環境コミュニケーションの推進	40
	次世代層へのエネルギー・環境教育の展開	41
5 環境管理の推進	環境マネジメントシステム (EMS) の的確な運用 / 環境に関する法規制遵守の状況	43
	社員の環境意識高揚	44
	環境会計	45

本レポートに記載のマークについて

私の環境アクション

社員や当社の環境活動にご協力いただいた方々の声を掲載しています。
 なお、社員については、2012年6月末時点での所属を記載しています。



関連・詳細情報を
ホームページに掲載

2012 九州電力 環境アクションレポートの関連・詳細情報をホームページに掲載しています。

関連・詳細情報へは、
 九州電力ホームページ
<http://www.kyuden.co.jp/>
 >原子力・環境・エネルギー>環境への取り組み
 >九州電力環境アクションレポート
 >2012 九州電力環境アクションレポート
 >関連・詳細情報

特に重要な環境情報として 受審したデータ

記載内容の客観的な信頼性を確保するため、このマークを付したデータは、第三者機関による審査を受審しています。



環境報告
 審査・登録マーク
 (裏表紙)

本レポートには、環境情報の信頼性に関して、サステナビリティ情報審査協会 (<http://www.j-sus.org/>) の定める「環境報告審査・登録マーク付与基準」を満足していることを示す、「環境報告審査・登録マーク」が付与されています。

II グループ会社の環境経営

グループ環境経営推進部会	47
事業活動と環境負荷の状況 / 環境目標と実績	48

1 地球環境問題への取り組み	温室効果ガスの排出抑制	49
	オゾン層の保護	50
2 循環型社会形成への取り組み	廃棄物のゼロエミッション活動の展開	51
3 地域環境の保全	環境保全の推進	52
4 社会との協調	環境コミュニケーションの推進 / 地域における環境活動の推進	52
5 環境管理の推進	環境マネジメントシステム (EMS) の的確な運用 / 環境に関する法規制遵守の状況	53
	環境会計 / 環境教育・環境情報共有化	54

III 社内外の評価及びご意見

環境アクションレポートの 読者アンケート	55	
エコ・マザー活動における 保護者アンケート	56	
環境に関する お問い合わせ等への対応	56	
社外評価	社外評価 / 社外表彰	56
第三者機関による 環境アクションレポートの審査	第三者審査報告書	57

用語集 (別冊)

レポートで使用した用語について解説した用語集を Book in Book 方式で巻末に添付しています。本冊子から切り離してのご使用もできます。